



2025年5月期 第3四半期決算説明資料 (2024年6月1日～2025年2月28日)

2025年4月11日
小津産業株式会社
証券コード7487

売上高・売上総利益 前期比増収・増益

売上高： 7,788百万円 対前期比 +105百万円

AI関連需要好調推移、製薬関連の稼働も堅調推移
海外でもAI関連需要に加え、光学関連需要が堅調推移
除菌ウェット製品、国内コスメティック需要も堅調推移し前年同期比増収

売上総利益： 2,593百万円 対前期比 +135百万円

販売価格の適正化・原価低減等により増益

営業利益： 457百万円 対前期比 ▲23百万円

長期ビジョン達成に向け戦略的に予算を充当した結果減益

経常利益： 592百万円 対前期比 ▲18百万円

営業利益の減益により経常利益も若干の減益

親会社株主に帰属する

四半期純利益： 380百万円 対前期比 ▲90百万円

海外子会社からの配当金受領に伴い税負担額が増加 前年同期比減益



1. 2025年5月期 第3四半期決算概要

3

2. 2025年5月期 業績見通し

7

3. 各事業分野の主要動向

10

4. 参考資料

21



1. 2025年5月期 第3四半期決算概要



業績のポイント

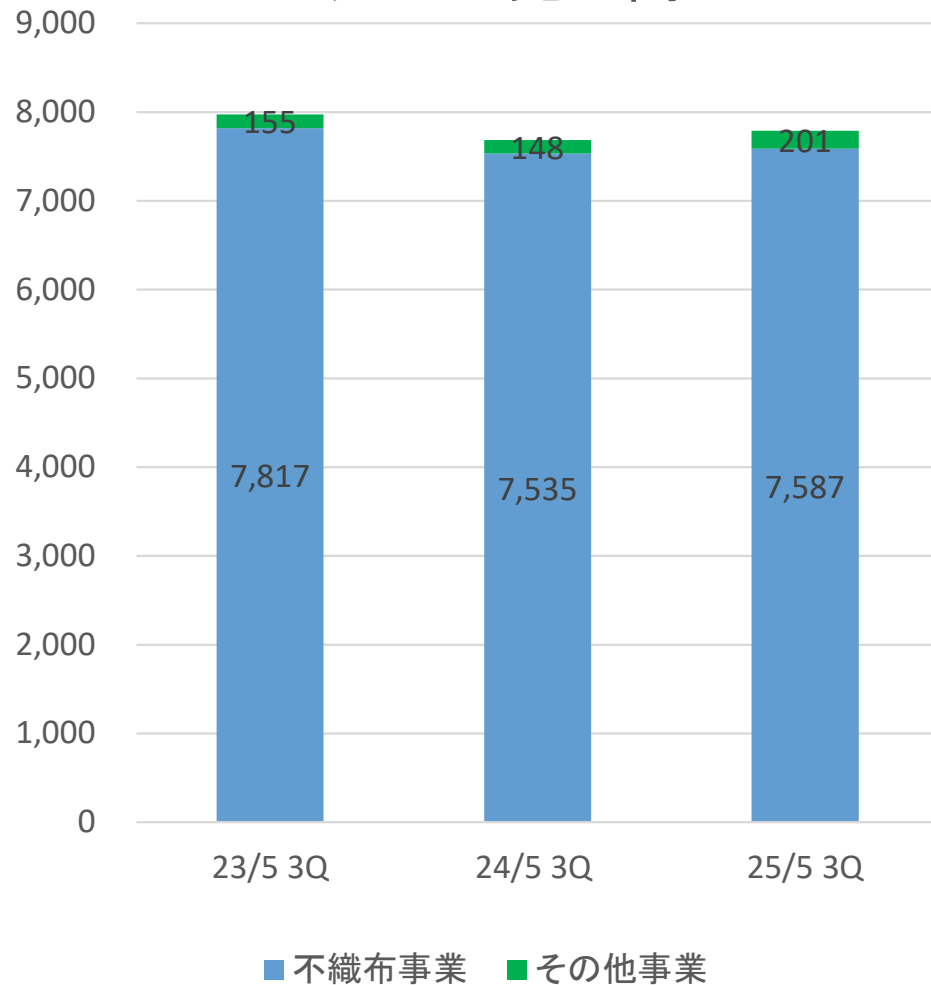
- 前年同期比増収 粗利も増加
- AI関連需要が好調推移、製薬関連の稼働も堅調推移
海外においてもAI関連需要に加え、光学関連需要が堅調推移
- 除菌ウェット製品や国内コスメティック需要も堅調推移
- 販売価格の適正化や原価低減等も奏功するも、長期ビジョンで掲げる目標達成に向け、戦略的に予算を充当した結果、営業利益等は前年同期比減少

(百万円)	24／5期		25／5期		前年同期比
	3Q実績	構成比	3Q実績	構成比	増減額
売上高	7,683	100.0%	7,788	100.0%	105
売上総利益	2,458	31.9%	2,593	33.3%	135
販売費及び一般管理費	1,977	25.7%	2,135	27.4%	158
営業利益	480	6.2%	457	5.8%	△23
経常利益	610	7.9%	592	7.6%	△18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	470	6.1%	380	4.8%	△90

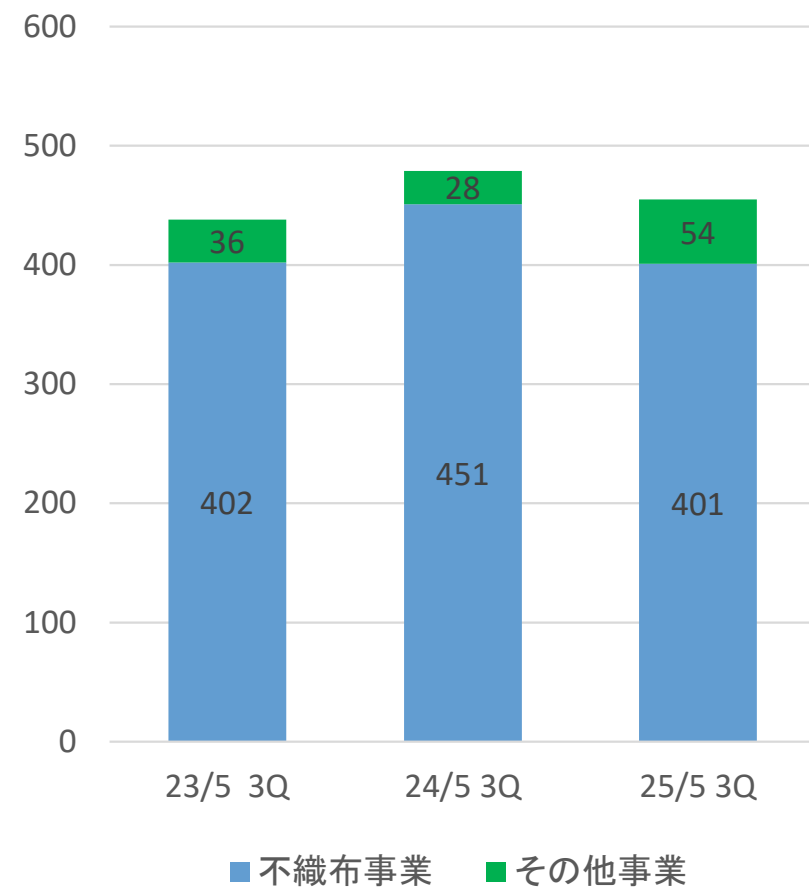


不織布事業＋その他事業の業績推移

セグメント売上高

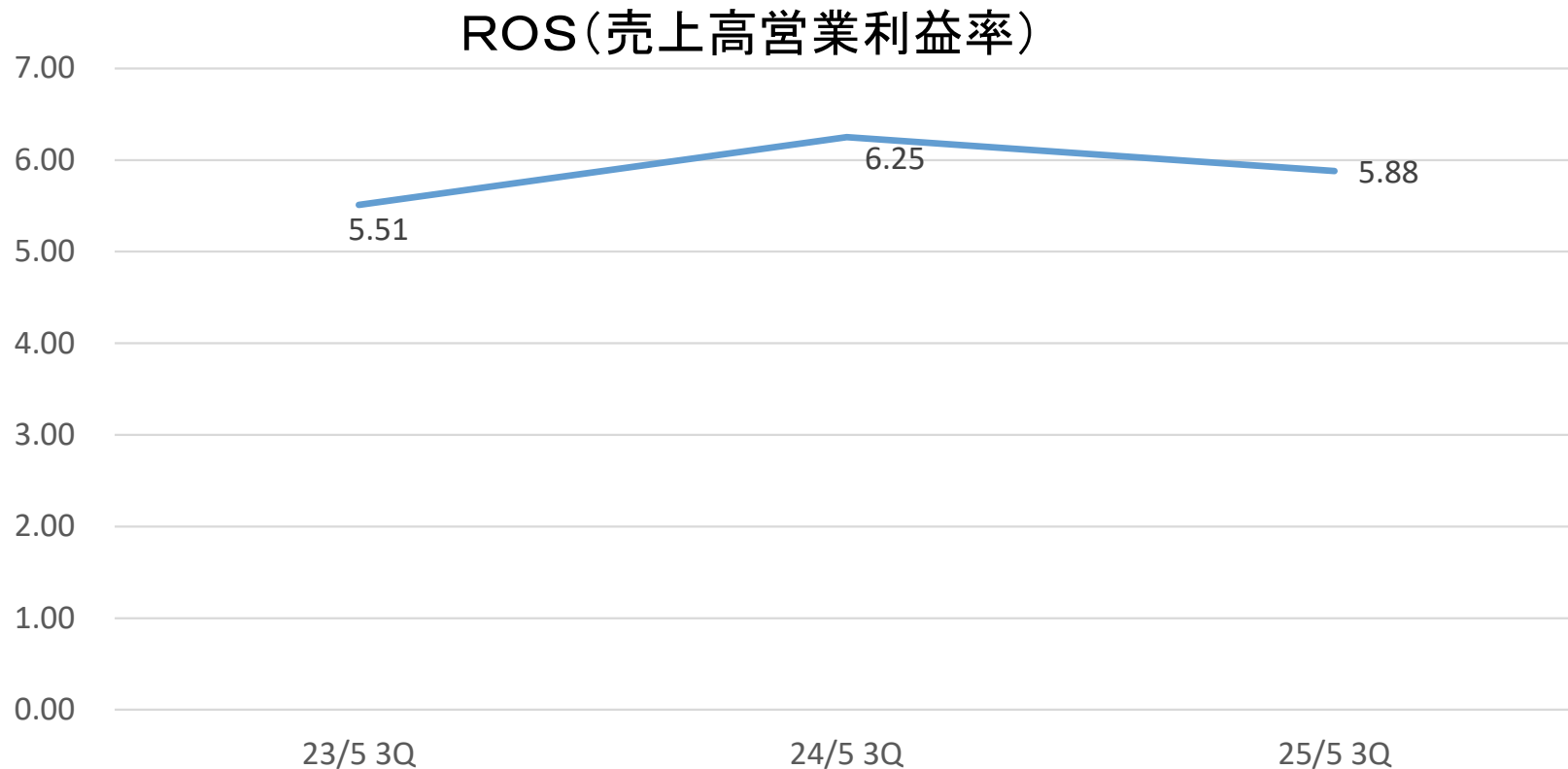


セグメント利益





経営指標の推移



- 前年同期比増収を実現 販売価格の適正化や原価低減等により粗利も増益
- 戦略的な予算充当により販管費が増加し、ROSは前年同期比若干低下
- 長期ビジョンで掲げる目標達成に向け、人材確保、市場調査・研究開発費等に戦略的に予算を充当し、土台づくりに注力



2. 2025年5月期 業績見通し

2025年5月期 連結業績予想



業績予想概略

売上高:10,000百万円 前期比 △125百万円

- クリーン分野が堅調推移 除染布(五大力)の納入数量減、海外コスメの販売減、エコプロダクツ分野の販売減をカバーし、売上高は前期比微減を見込む

営業利益:440百万円 前期比 △88百万円

- 長期ビジョンで掲げる目標達成に向け、人材確保、市場調査・研究開発費等に戦略的に予算を充当
販管費の増加により減益を見込む

販売費及び一般管理費:前期比 +256百万円

(百万円)	24／5期		25／5期(2025年1月30日公表値)		前期比
	実績	構成比	予想	構成比	増減額
売上高	10,125	100.0%	10,000	100.0%	△125
営業利益	528	5.2%	440	4.4%	△88
経常利益	704	6.9%	590	5.9%	△114
親会社株主に 帰属する当期 純利益	546	5.4%	480	4.8%	△66

※米国の関税政策が当期の当社業績に与える影響は軽微と見込んでおります

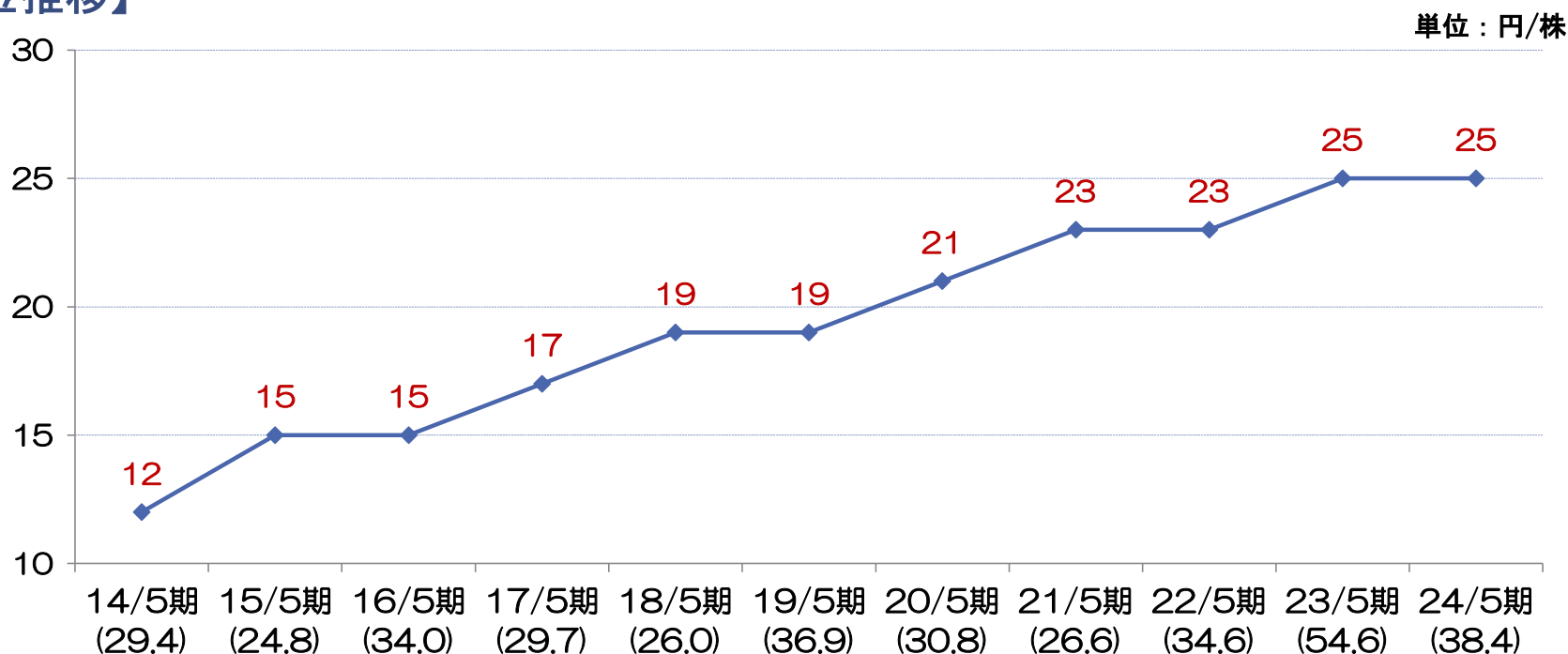
株主還元方針

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の確保を総合的に勘案し、株主還元を行います。

加えて、株主さまへの利益還元を充実するため、業績に多大な影響を与える事象の発生がないかぎり減配は行わず、増配を目指して業績向上に努めます。

現時点においては、2024年5月期と同様の、一株あたり25円の配当（配当性向43.8%）を予定しております。

【配当金推移】



※決算期下段()内は配当性向



3. 各事業分野の主要動向

第一次中期経営計画2027（2024年7月発表）



第一次中期経営計画2027基本方針

- 長期ビジョン「OZU Innovation2034」の実現のための土台づくり
“自ら製品を企画・開発・生産する機能を備えた商社”への発展を目指す
- 発展を支える地道な活動の実施
お客さまニーズ等の情報収集活動の展開
外部環境変化に的確・迅速に対応

計量計画

- 2027年5月期（最終年度）
売上高：10,500百万円 営業利益：300百万円

進捗状況

- 事業戦略室を核とした新用途・新機能の開発、新事業の探索
⇒複数案件で検討、進捗あり 早期の具現化を目指し一層強力に推進
- 長期ビジョン実現のための土台づくり
⇒人事制度の改定、グループ購買機能の確立、業務の生産性向上、加工場の最適化等の検討加速
長期ビジョン実現のための重要な基盤である人事制度の改定は、2025年6月1日からの適用開始予定

不織布事業(分野)	事業の概況・営業部の再編
クリーン分野 (電子・食品・製薬等)	国内外一体となって、半導体・自動車・食品・航空・製薬等、製造現場で使用される製品の企画・販売を推進するため、クリーンサプライ営業部に海外営業部を統合
ウェルネスケア分野 (医療・介護・コスメティック等)	「医療・美容」に係る分野への製品の企画・販売を推進するため、メディカルサプライ営業部とコスメサプライ営業部を統合
エコプロダクツ分野 (鉄鋼・電力・建設等)	幅広い環境対応製品の企画・販売を推進 除染関連事業も担当 環境対応製品を軸に、鉄鋼・電力・建設等への営業を強化
コンシューマー分野 (一般消費者向け)	マスク・ウェット製品等の一般消費者向け製品の企画・販売を推進、取扱い製品の一層の拡充を図るため、ディプロの営業部隊の一部を吸収
小津(上海)貿易有限公司	中国における販売・購買の拠点 中国でのクリーン分野製品の販売や原材料購買を推進
ディプロ	小津グループの生産拠点 化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品を生産
日本プラントシーダー	農業の生産性を高める「シーダー農法」製品を展開 省力化、生産性向上の手助けとなる製品を開発・展開
その他事業	事業の概要
除菌関連事業 (エンビロテックジャパン)	食品添加物として過酢酸製剤を販売(米国FDA認証、2016年厚労省認可) フードロス削減に繋がる過酢酸製剤の販売を推進
不動産賃貸業	建物賃貸事業

事業の概要

半導体・自動車・食品・航空・製薬等、製造現場の清拭ワイパーとして不織布を展開
様々な製造現場に、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約35% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・国内では、A I 関連需要が好調推移
製薬関連の稼働も堅調推移
- ・海外でも、A I 関連需要に加え、光学
関連需要が堅調推移し、売上高、利益
面とも前年同期比増加

今後の取り組み

- ・半導体、電子部品、食品分野等への
拡販に注力
- ・国内外一体となった営業活動の推進
- ・事業戦略室、生産本部との協働による
海外拠点の見直し

【取扱製品例】

「ワイパー(ベンコット®)」



「航空用ワイパー」



「厚手紙ワイパー」



「除菌ウェットワイパー」



※「ベンコット®」は旭化成の登録商標です

ウェルネスケア分野(医療・介護・コスメティック等)



事業の概要

不織布と加工の技術をより、発展させ、生き活きとした日常生活に貢献
高品質な医療・介護製品、スキンケア商材を開発し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約25% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・除菌ウェット製品は引続き堅調に推移
 - ・コスメティック製品の海外需要が伸び悩むも、国内需要は堅調推移
- 前年同期比、売上高は横ばい、利益面は増加

今後の取り組み

- ・メディカル商材を美容分野に、コスメ商材を医療・介護分野に展開
- ・新たな顧客の獲得とニーズの掘り起こしによる人々のウェルネスケア(心身両面の健康)に寄与する新製品の開発

【取扱製品例】

「ワイパー」



「清拭ワイパー」



「フェイスマスク」



「ウェットシート」



事業の概要

インフラ支える製造環境の改善や除染関連事業で社会に貢献
生活基盤を支える領域に、機能性を持つ製品を展開し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約5% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 除染布（五大力）の販売実績を計上するも原材料等の高騰から全般に需要が落ち込み、前年同期比、売上高は減少、利益面は横ばい

今後の取り組み

- ・ 環境対策製品である油吸着材（オイルティカー）のラインナップ拡充
- ・ 環境に優しい製品を幅広く拡販
除染関連事業も推進
- ・ 「エコ」をキーワードに新製品開発

【取扱製品例】

「油吸着材（オイルティカー）」



「汗拭きシート（ノアクールシートC1000）」



「除染布（五大力）」



事業の概要

新しい機能を開発・強化、人に優しい製品で生活に貢献
機能性を持たせた不織布製品を通じて、日常生活に「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率 約3% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う需要減が一巡
- ・ 売上高は前年同期比増加するも、人員増等の影響から利益面は減少

今後の取り組み

- ・ ディプロ製造のウェット製品、マスク製品等の拡販
- ・ 販売ルートの整理（重複先の整理等）による効率的な営業の推進
- ・ 既存の商品カテゴリーにとらわれない不織布コンシューマー製品の開発

【取扱製品例】

「マスク(マスメイク)」



「除菌ウェットワイパー(ケアウィル®)」



「メガネふき」





事業の概要

中国における販売・生産・購買の拠点

中国でのクリーン分野製品の販売や原材料購買を通じ、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約3% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績



今後の取り組み

- ・半導体需要が比較的堅調推移
- ・売上高、利益面とも前年同期比増加

- ・既存顧客との接点再強化による拡販
- ・TikTok等を活用した新商材の拡販
- ・小津グループ向けの原材料購買機能の拡充

事業の概要

小津グループの製造拠点

化粧品や医薬部外品等の高付加価値製品を生産し、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約15% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 原材料価格等の高止まりへの対応実施
- ・ 売上高は前年同期比減少するも利益面は増加

今後の取り組み

- ・ 製品ラインナップの拡充や小津産業との連携による売上高の増強
- ・ 高機能商品の開発、生産性向上による品質向上と原価低減の実現
- ・ 小津産業とのグループ購買機能確立に向けた体制整備

【工場全景】



【当社設備事例】



【取扱製品例】

「高濃度除菌ウェットシート」



事業の概要

農業の生産性を高める「シーダー農法」製品を展開
省力化、生産性向上の手助けとなる製品を開発・展開し「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約10% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

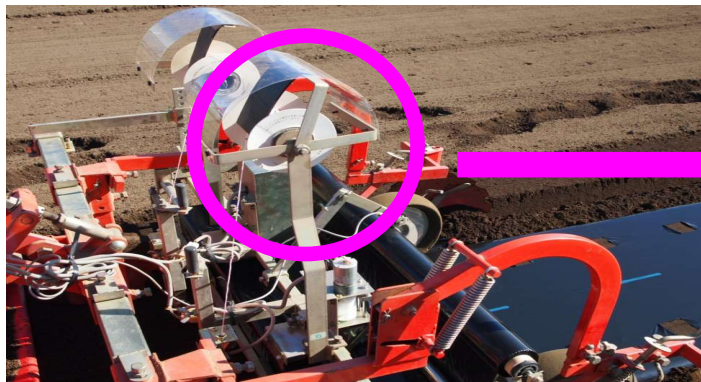
- ・国内外とも販売が伸び悩み、前年同期比売上高は微減、利益面は減少

今後の取り組み

- ・主力製品の拡販と新規分野への取り組み強化（海外販路拡充、新規商品の開発強化）
- ・加工体制の最適化と新規マシンの開発推進

【取扱製品例等】

「シーダーマシン（あけマルくん®）」



「シーダーテープ」



「東北営業所」



除菌関連事業（エンビロテックジャパン株式会社）



事業の概要

食品添加物の過酢酸製剤を販売（米国FDA認証、2016年厚労省認可）
フードロス削減に繋がる過酢酸製剤の拡販により、「より清潔・より快適」を提供

売上構成比率

約2% ※連結 2025年5月期業績予想ベース

第3四半期までの実績

- ・ 過酢酸製剤の効用訴求活動の継続実施により新規採用先が増加
- ・ 前年同期比、売上高、利益面とも増加

今後の取り組み

- ・ データ・ノウハウ・現場力の蓄積による訴求力、提案力の強化
- ・ ターゲット・優先順位に基づく、効果的な営業活動の実践

【取扱製品例等】



※過酢酸製剤使用例



※泡除菌剤パーサンフォーム使用例

「過酢酸製剤 (パーサン®)」





4. 参考資料

2025年5月期 第3四半期連結貸借対照表



(百万円)	24/5期 5月末	25/5期 2月末	増減額
流動資産	12,894	13,108	214
固定資産	11,842	11,835	△7
総資産	24,736	24,944	208
流動負債	3,601	3,473	△128
固定負債	2,932	3,027	95
負債合計	6,533	6,501	△32
純資産	18,203	18,443	240
自己資本 比率	73.3%	73.6%	0.6%

主な増減要因

■ 資産	
電子記録債権	+206
投資有価証券	+110
■ 負債	
繰延税金負債	+82
未払法人税等	△87
■ 純資産	
利益剰余金	+170

- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社
- 現在では、クリーン分野、ウェルネスケア分野、エコプロダクツ分野、コンシューマー分野などを展開
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供



小津産業会社概要



会社名 小津産業株式会社

本社所在地 東京都中央区日本橋本町3-6-2

創業 1653年(承応2年)

設立 1939年(昭和14年)12月6日

資本金 13億2,221万円

証券コード 東証スタンダード 市場 7487

事業内容 不織布・紙製品等の販売・加工・ウェット製品製造、
輸出入および過酢酸製剤販売

従業員数 連結:289名 単体:99名(2024年5月31日現在)

役員等

取締役会長	今枝 英治
代表取締役社長 社長執行役員	柴崎 治
取締役 常務執行役員	村尾 茂
取締役 常務執行役員	三崎 剛志
取締役 上席執行役員	立野 智之
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
常勤監査役	近藤 聡
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子
執行役員	山田 拓
執行役員	中野 伸昭

関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ 小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株) (株)旭小津
持分法適用関係会社	アズフィット(株)



本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : soumu@ozu.co.jp

<https://www.ozu.co.jp/>

本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。